

発信：多文化共生センター（旧：外国人地震情報センター）

文責・田村：TEL: 06-941-4793 FAX: 06-941-5875

## ■おもな出来事（95.9.22.～10.1.）

1. 第25回地元NGO／外国人救援ネット 9.25.
2. 「多文化共生センター」発足総会 9.28.

（全1ページ）

## 「復興基金」からの未払い医療費補助事業開始

兵庫県は、医療機関が抱えている健康保険に加入できない外国人の未収医療費を、県・神戸市等で運用する「復興基金」から全額補填する「外国人県民緊急医療費損失特別事業」を開始することを発表した。

震災時兵庫県に在住し、震災に直接起因する傷病で治療を受けた外国人の内、国保等に加入していなかったために回収不能となっている医療費について、県内外を問わず医療機関（歯科、医師の発行する処方箋に基づいて調剤した薬局も含む）の請求により補填する。補填金額は、上記の条件を満たし、1995年5月までにかかった医療費で、保険診療で認められる医療費の全額。ただし300万円を限度としている。

申請は10月2日から11月30日まで、兵庫県国際交流課で受け付ける。申請には交付申請書と医療費明細書などが必要。

この措置により、東京などへ避難した外国人被災者の医療費についても、震災に起因した傷病であれば「復興基金」からの補填が可能となる。

問い合わせ先：兵庫県国際交流課 078-341-7711

（申請書は多文化共生センター（旧・外国人地震情報センター）にもあります。）

## 第25回地元NGO／外国人救援ネット

9月25日、中山手カトリック教会にて外国人救援ネットの第25回会議が行われた。

### ★肩代わり基金

帰国後も治療を続けていたペルー人の親子へ計20万円、同じくペルー人で弔慰金の支給対象から外されている男性の遺族へ100万円をそれぞれ支給した。超過滞在であるとの理由から弔慰金支給を拒否されている中国人男性と、その弟で帰国後入院治療をした2ケースについて、次回救援ネット終了後、神戸で中華料理店を営む遺族へ直接手渡すこととなった。

### ★ホットラインについて

9月13日よりスタートしたが、断線のため3時間ほど不通となった。まだ相談件数は少なく、しばらくは広報活動に力を入れる。